

## 機関紙の創刊にあたって

ニチイナースネットはサービスの枠を越え、ニチイグループで働く看護師が横のつながりを持ってネットワークです。この機関紙が皆さんのつながりを深め、悩みの解決やスキルアップの一助となればと考えています。機関紙の記事は現場の看護師によって作成されています。皆さんと同じ目線で作られたものばかりなので、日々のお仕事のヒントにしてください。

創刊号の担当は北海道・信越グループ、東北第一・第二グループ、関東グループ、東海・中京・北陸グループです。

## 機関紙の名前が決定しました！『ニチイナースネット通信』

機関紙の名前を全国の看護師に募ったところ、なんと約 115 通以上もの応募がありました。応募してくださった皆様、ありがとうございます。

その中で選ばれた名前は「ニチイナースネット通信」です。

『ナースネットを共通の言葉として意欲的に活動していきたい』という想いが込められています。そしてこの名前を考案してくださったのは NC 榎原の小林みゆきさんと NC 大井町の古屋奈々子さんです。お二人には記念品をお渡しします。

『ナースネット』をキーワードとして、今後も活動して行きましょう！

## 個別機能訓練

### 集団でのレクから見つけた個性 ～ニチイケアセンター小浜（通所介護）での取り組み～

ニチイケアセンター小浜では福井県の伝統芸能である塗り箸を作る工程でできる切れ端『木端』を使ったレクリエーションを取り入れています。お客様にとって馴染み深いお箸を使っていることもあり、人気のあるレクですが、視点を変えると個別機能訓練にも有効なものではないかと考えるようになりました。

#### 1. 『木端』を使ったレクリエーション

『木端』を使ったレクリエーションは、木端の数を数える、色分けをする、木端をペットボトルに入れる競争をする、木端を入れたペットボトルをピンにしてボーリングをする、振ってマラカスの様に音を出して応援する・・・など様々な方法があります。



色分け



ペットボトルに入れる競争

#### 2. 個別機能訓練として期待できる効果

集団で行なうレクなのに、視点をお客様一人ひとりに変えてみると個別機能訓練になります。視覚障害のある方もこのレクには楽しんで参加して下さいます。下記に期待できる効果を挙げますので、集団から個性を見つけるきっかけにしてください。

対象	期待できる効果
視覚障害の方	容器からの出し入れの際音がするので、入っているか、無くなったか確認できる。木端の中には柄に凹凸があるものがあるので手の感覚で分類できる。
認知症の方	短時間でも集中することができる。色分け、容器に出し入れしやすい、持ちやすい。
片麻痺の方	持ちやすい、指先を使うことで脳の活性化、筋力アップにつながる。
全体	周りの方に関心をもつことにより、交流、コミュニケーションが取りやすくなる。 一人ひとりの参加意欲を引き出し、楽しみながら行なうことが出来る。 時間を計るなど、目標の設定がしやすい。(時間、個数、手指の動き、動作の工夫)

(担当：北陸・中京・東海グループ 福井支店)

## 現場のひと工夫

### 働きやすい職場は自らつくる

#### ～ニチイケアセンター門田(通所介護)での取り組み～

通所介護では交代勤務となる看護師間の連携や、介護職と看護職のチームワークは大切なことです。そのため、申し送りノート等で情報共有されている事が多いと思います。

私が入社した時は、看護職と介護職との業務がはっきり分かれており、朝の準備・帰りの掃除・ごみ出し・処置のあるお客様のオムツ交換は看護師のみの業務とされ、介護スタッフの協力を得られず汗(涙)を流して行ったものです。決して円滑な業務が行なえているとは言えない状況でした。そこで、チームワークが良くなるよう、ミーティングの機会を増やしたり、介護職や看護職がお互いの業務を理解できるように取り組んだ結果、今では介護職と看護職がお互い進んで協力する関係になってきました。

今回はその取り組み事例を紹介します。参考にしてみたいかがでしょうか。

#### 1. 終礼やミーティングは問題が発生した場所で話し合いをする

よく「ミーティングやカンファレンス等で意見を出し合い、働きやすい職場環境を自分達で作りあげていきましょう！」と言われるのですが、言いにくいこともあるものです。しかし、スタッフが効率よく働き、お客様に質の高い

サービスを提供するために、実践することにしました。例えば、利用者数が増え出した頃、入浴終了が昼食時間にかかるようになりました。安全にかつ効率良く介助しようと多職種(介護スタッフ、看護師、生活相談員)が集まり、脱衣場でお客様の導線に配慮した備品の配置を話し合いました。具体的な動きをもとに話し合うことで共通理解がしやすく解決策が見つかりました。

#### 2. お客様情報を分かりやすく伝える

##### 写真を使って一目瞭然に！

褥瘡や傷の処置は看護師が行ないますが、経過については部位を写真に撮って介護スタッフも一緒に理解することでケアが統一できます。また、装具を利用しているお客様の送迎時、介護スタッフへ装具の名前を伝えても理解されず、装具を忘れてくる事がありました。そのため、装具を写真に撮って介護スタッフにも分かるようにすることで、朝のお迎えの時に装具が付いているかの確認もできます。(担当：東北第一・第二グループ 郡山支店)



# 季節ごとの疾患 食中毒

## 「デイサービスへの食べ物持込を考える」

食中毒は①細菌性食中毒（食品の賞味期限切れや腐敗したものの摂取：O157 やサルモネラ、黄色ブドウ球菌）②ウイルス性食中毒（ノロウイルス）③自然毒食中毒（毒キノコ・ふぐ・ジャガイモの芽・寄生虫アニサキス）に大まかに分けることができます。高温多湿となるこれからの時期は細菌性食中毒が多く発生する時期で注意が必要です。デイサービスなど漬物や赤飯、鮎・・・そのほか多数の食べ物を持ち込むお客様の対応に困ったことはありませんか？食中毒の原因にもなりますね。今回は食べ物の持込みについて、ある拠点の取り組みをご紹介します。

### 1. 契約時にきちんと説明をする



なぜ持込みがいけないのか？食中毒、のど詰まりの危険のほか、食べたくても食べられない方もいらっしゃるなど、本人だけでなくご家族にも利用前の契約時にしっかり理解していただき、食べ物を持ち込まないように、持ち物の確認などの協力を依頼しておきます。



### 2. 持込みがあった時は・・・見て見ぬふりをしない！！



厳しいかもしれませんが、たとえ鮎一粒でも見逃してしまうと周囲に対して「これくらいならいいんだ」と思われてしまい、食べ物の持込みが伝染してしまいます。きちんといけないことと指摘します。そのような姿勢をスタッフ全員が徹底することで、お客様、そして自分たちスタッフも守ることにつながります。持込みがあった時期、食中毒の流行る時期には朝や帰りの会でお客様全員に食べ物持ち込みの危険について繰り返し説明を行っています。

### 3. ご家族の反応は・・・



契約時に事前に説明をしていることで、万が一持込みがありご家族に連絡をさせて頂いた場合でも「そうだったね。聞いていたよ」とご理解ご納得をいただいているそうです。最後に・・・今後、改定された感染症マニュアルを研修課より発信の予定です。是非ご活用ください。

（担当：北海道・信越グループ 釧路支店）



## ナース紹介

### ニチイのきらめき成田 柴田礼子さん

#### 介護付き有料老人ホーム「ニチイのきらめき」での仕事内容

「ニチイのきらめき」は全国に30ヶ所ある有料老人ホームと2ヶ所ある高齢者専用賃貸住宅です。看護師は施設という生活の場で、毎日の健康管理や医療機関との連携、生活の介助などを行ないながら、お客様のちょっとした変化に気付くことが大切な仕事です。

#### ニチイのきらめき成田の看護師 柴田さんに聞きました



##### ◆プロフィール◆

勤務スタイル：1日5時間（9時～14時）週3～4日勤務。9歳と5歳のお子さんを持つママでもある

##### <ニチイで働くまでの経緯>

看護学校卒業後、がん専門病院で約4年間勤務。結婚を機に退職（住まいが勤務地から遠く通えなかったことが理由）その後、出産・育児で忙しい日々。（看護師として働きたい気持ちはあったが、子供の病気等で仕事を度々休むことへの不安があり復帰を迷っているうちに時間だけが経ってしまった）ブランク10年になり、復帰に対する自信がなくなりかけていたところ、家の近くに「きらめき成田」ができたことで復帰を決意。今に至る。

#### お子さんがいるのにどうして働けたの？

##### ○無理のない時間で仕事をスタート

近くに身内がいないため、急に子供が病気になった時に仕事を休むことが一番不安でした。そのため、入社前の面接で正直に話し、細かいところまで話し合いました。また、預け先があまりないので「無理のない時間帯で仕事をスタート」したことが仕事を続けられる要因だと思います。時々、幼稚園の延長保育や近所のお友達に助けをもらい、子供が小さいうちは今の環境をあまり変えずに仕事をしたいと思っています。家族への負担や家事にも支障がなく安心して働けますし、短時間なので集中して楽しく仕事ができます。お客様の毎日の健康をチェックし、できるだけ不安や悩みを取り除き、笑顔で過ごしてもらえることがなにより嬉しく思います。

##### ○周囲の温かいサポート

短時間勤務で、こなせる仕事は限られるので他の看護師や介護スタッフに迷惑をかけることも多いと思いますが、いつも時間内に終わるように声を掛けてくれる方も多く、助かっています。

#### <柴田さんの1日>

- 6:00 起床 朝食・洗濯
- 7:00 長男を送り出す
- 8:00 長女を幼稚園バスに乗せ仕事に向かう
- 9:00-14:00 きらめき成田で看護師として勤務
- 15:00 長女のお迎え、長男帰宅
- 16:00-17:00 家の片付け、夕食の準備 など
- 18:00 夕食

（担当：関東グループ 柏支店）



## ニチイナースネットの活動紹介

ニチイナースネットは、サービスの枠を越え、ニチイグループで働く看護師が横のつながりを持てるネットワークです。そして、ナースネットの活動は、ニチイグループの看護師一人ひとりの参加型の活動で推進します。

#### ✦『情報交換の場』

定期的なミーティングや機関紙（Webサイトも間もなくオープン予定）を通して日頃の業務の疑問や悩みを解決する糸口を見つけるきっかけを作ります。

#### ✦『勉強会・研修会の企画・運営そして参加』

日々の業務に活かす知識・技術を習得する機会を定期的に企画・運営・参加し、看護師としてスキルアップしましょう。

#### ✦『私たちの仕事、もっと知って！』

介護業界の看護師の仕事、まだまだ知らない人ばかり。「やりがい」や「醍醐味」をもっとアピールし仲間を増やしましょう。

#### ✦『働きやすい職場環境を！』

全国の拠点の様々な取り組みや工夫を共有し、働きやすい職場環境を私たち自身で作らしましょう。

#### ✦『看護師同士がサービス・法人の枠を越えて助け合う』

ライフスタイルが変化した時、看護師がお互いに助け合いワーク・ライフバランスを保ち、働き続けられる環境を作っていきましょう。

#### 〔発行元〕

株式会社ニチイ学館 組織監理室 ナースネット事務局  
問合せ先：kangoshi@nichiigakkan.co.jp

